



# YAMAHA

L3



L4



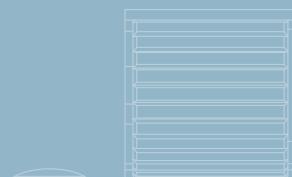
L5

# TENORI-ON

## QUICK GUIDE

TNR-W/TNR-O

designed by Toshio Iwai & Yamaha



### ●付属品 (お確かめください)

- TENORI-ON本体
- 電源アダプター (PA-3C, PA-130またはヤマハ推奨の同等品)
- MIDIケーブル (ミニMIDI DIN-MIDI IN/OUT)
- CD-ROM
- クイックガイド (本書)
- インストールガイド
- 安全上のご注意
- 保証書

## CONTENTS

- 03 TENORI-ONハードウェア外観および各部名称
- 04 TENORI-ONと外部機器との接続
- 05 電源の準備とスイッチオン / TENORI-ONの演奏スタイル
- 06 TENORI-ONの基本操作: Scoreモード
- 08 TENORI-ONの基本操作: ファンクションボタン
- 12 レイヤーと演奏モードの関係
- 13 Randomモード (レイヤー 08~11)
- 14 Drawモード (レイヤー 12, 13) / Bounceモード (レイヤー 14)
- 15 Pushモード (レイヤー 15) / Soloモード (レイヤー 16)
- 16 ブロックの使い方
- 18 メニューの使い方
- 20 メニューリスト
- 22 ソングのレコーディングと再生
- 23 オリジナルのサンプリング音を使う
- 24 TENORI-ONをインテリアとして使う
- 26 TENORI-ONスコアシート
- 27 TENORI-ON仕様

### ●取扱説明書について

TENORI-ONの取扱説明書は、以下の4冊で構成されています。

#### ・クイックガイド (本書)

TENORI-ON の基本的な操作や設定を覚えていただくための本です。

#### ・マニュアル

付属 CD-ROM に電子マニュアルとして同梱されています。TENORI-ON をより深くお使いいただくための設定方法や機能が記載されています。

#### ・安全上のご注意

TENORI-ON を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。TENORI-ON をお使いになる前に、必ずよくお読みください。また、保証とアフターサービスの情報も記載しております。

#### ・インストールガイド

付属 CD-ROM 内にある専用ソフトウェア「TENORI-ON User Voice Manager」のインストール方法が記載されています。

### ●付属のCD-ROMについて

サンプリングファイルをTENORI-ON用の専用フォーマットに変換するソフトウェアと、デモムービー、PDFマニュアルが入っています。

●このクイックガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。また、この取扱説明書に掲載されている画面やイラストは、TNR-Wのものです。

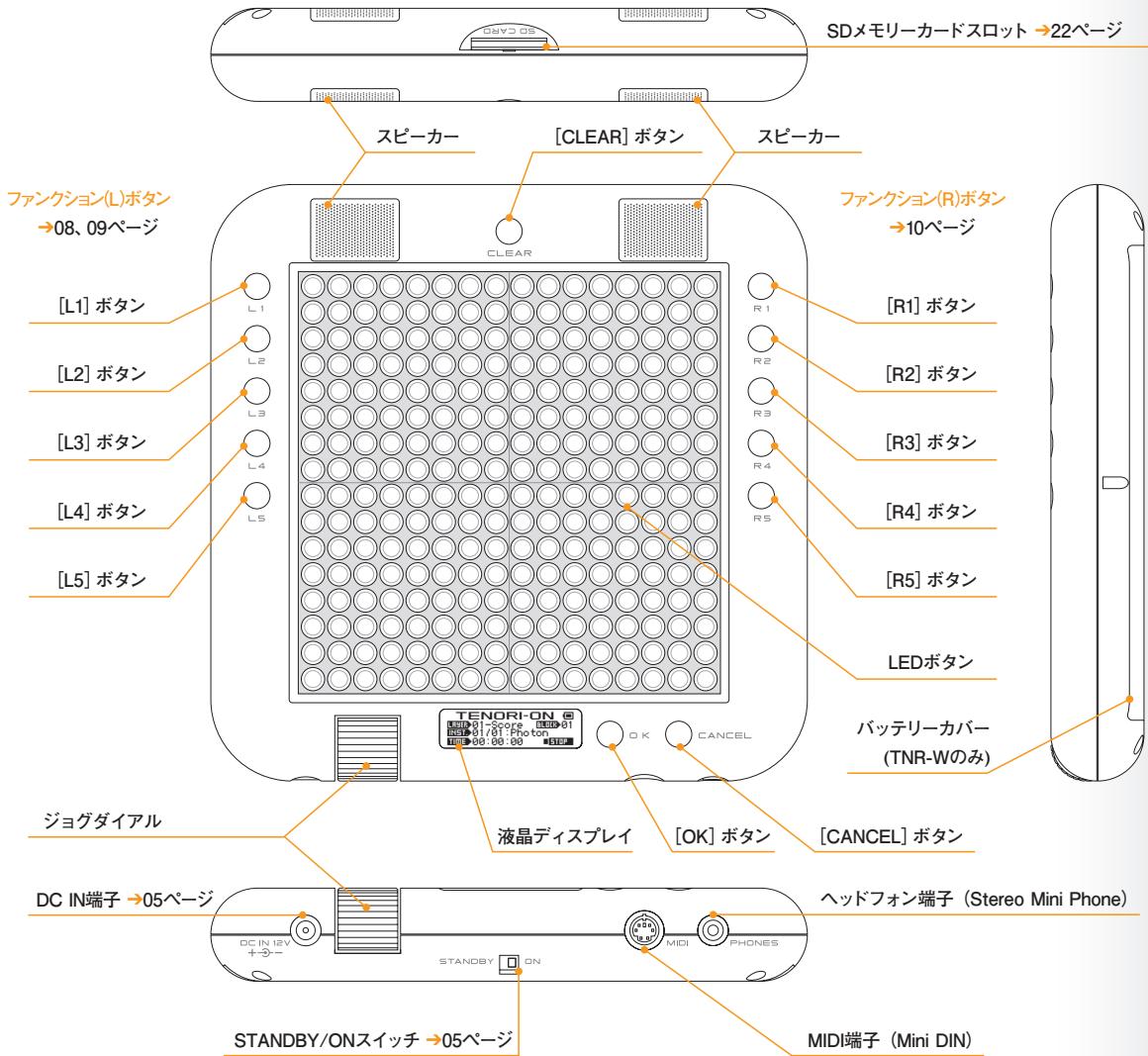
●SDはSD Card Associationの商標です。

●この製品は、ヤマハ（株）が著作権を有する著作物やヤマハ（株）が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ（株）の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を越えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

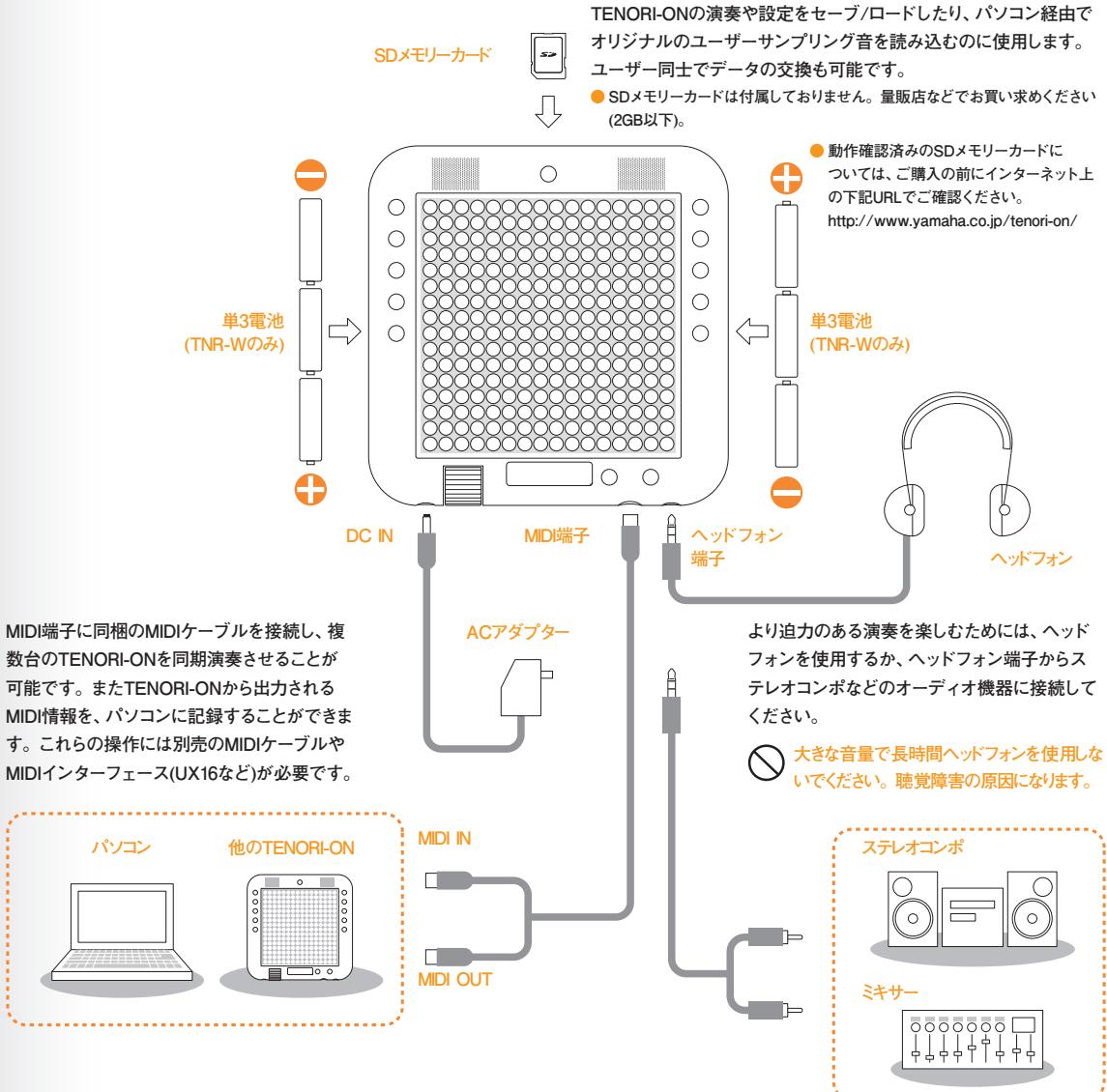
### ●データの保存と初期化について

一部のデータは電源を切ると消えてしまいます。電源を切る前にマニュアルの「Save All Blocks」(65ページ)を行なってSDメモリーカードに保存してください。本体の初期化については、マニュアルの「データの保存と初期化」(36ページ)をご覧ください。

●音量を上げすぎると音色によっては音がひずむ場合があります。その場合は音量を下げるか、外部スピーカーをご使用ください。



## TENORI-ONと外部機器との接続

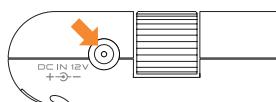


## 電源について

TENORI-ONは電源として、付属の電源アダプター (PA-3C、PA-130またはヤマハ推奨の同等品) または単3アルカリ乾電池をご利用いただけます。(TNR-Wの電源は電源アダプターのみです。乾電池はご使用になれません)

### 電源アダプターの接続

TENORI-ONのSTANDBY/ONスイッチをSTANDBY側にした状態で、電源アダプターのDCプラグをDC IN端子にさし込み、次に電源アダプターのACプラグを家庭用(100V)コンセントにさし込みます。



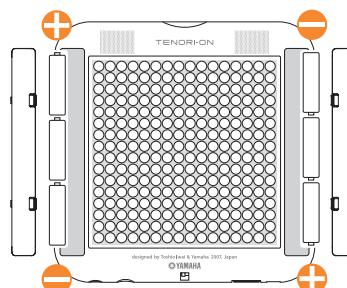
- ! 電源アダプターは必ず付属のものをお使いください。
- ! 乾電池をご使用の際は、必ずアルカリ乾電池をご使用ください。(TNR-Wのみ)

### 乾電池の入れ方

(TNR-Wのみ)

TENORI-ONのSTANDBY/ONスイッチをSTANDBY側にした状態で、本体裏面のバッテリーカバー(2カ所)を外します。

図の向きに単3アルカリ乾電池6本(左右各3本)を入れ、バッテリーカバーを閉めます。



### スイッチオン

STANDBY/ONスイッチをON側にスライドさせて、電源を入れてください。

電源を入れると、液晶ディスプレイ上にステータス画面があらわれ、画面右上に電源の状態がアイコン表示されます。

● 電源アダプターで駆動時



● 乾電池で駆動時(TNR-Wのみ)



フル



中



残り少



空

! 電池が消耗して寿命が近づいてくると、バッテリー残量表示が□マークに変わります。この表示が出たらお早めに乾電池を6本とも新しいものに交換してください。

! データ保存中などに電池が切れると、転送中のデータだけでなく、転送先のデータも失われます。データ転送時は電源アダプターをご使用ください。

## 演奏スタイル

### 持って演奏する

両手でTENORI-ONの両サイドをしっかりとホールドします。ファンクションボタンやLEDボタン、ジョグダイアルなどの操作は基本的に左右の親指で行ないます。親指がLEDボタンに届かない場合は、片手でTENORI-ONをしっかりとホールドし、もう一方の手でLEDボタンを操作してください。

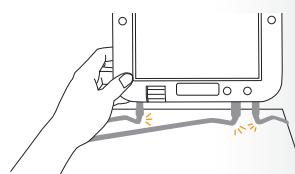


### 置いて演奏する

TENORI-ONをテーブルや膝の上などに置いた状態で操作することもできます。



! ケーブルを曲げた状態で強い力を加えないでください。ケーブルが断線するおそれがあります。



## モードとは

TENORI-ONの16×16個のLEDボタンは、演奏用の入力装置であり、また同時に演奏状態を目で確認できる表示装置でもあります。このLEDボタンを押し、光を操作することで、さまざまなTENORI-ONならではの演奏が可能となります。

TENORI-ONには、LEDボタンの操作方法および発音/発光のしかたが異なる6種類のプログラムが用意されています。これらのプログラムを演奏モード（もしくは単にモード）と呼びます。

TENORI-ONでは、これら複数の演奏モードを同時に駆使し、音を重ね合わせて鳴らすことで、豊かな音楽表現が可能となります。

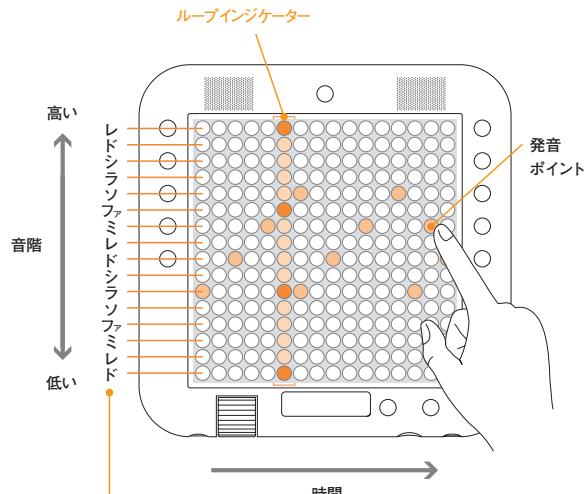
## 6種類の演奏モード

Score (スコア) モード	
Random (ランダム) モード	→13ページ
Draw (ドロー) モード	→14ページ
Bounce (バウンス) モード	→14ページ
Push (プッシュ) モード	→15ページ
Solo (ソロ) モード	→15ページ

## Score (スコア) モードとは

6種類の演奏モードのうち、TENORI-ONの基本となるのが、Scoreモードです。

Scoreモードは、楽譜の1小節に音符を書き込むように、16×16のLEDボタン上に発音ポイントをセットして、左から右へ順番にループのように繰り返し発音させるモードです。Scoreモードでは、LEDボタンの横方向が時間、縦方向が音階となります。縦方向に同じライン上にセットされた発音ポイントは和音として同時に発音されます。横方向の発音ポイント数は最大16ですが、その数や演奏速度を自由に変えられるので、複数のScoreモードを重ねあわせて複雑なグループ感を作り出すことができます。



工場出荷時の設定では、縦軸にはピアノの白鍵にあたる全音階が割り当てられています。この音階はメニューから変更することもできます。  
（→付属CD-ROM内の電子マニュアル「TENORI-ONマニュアル」Master Scale (41ページ)）

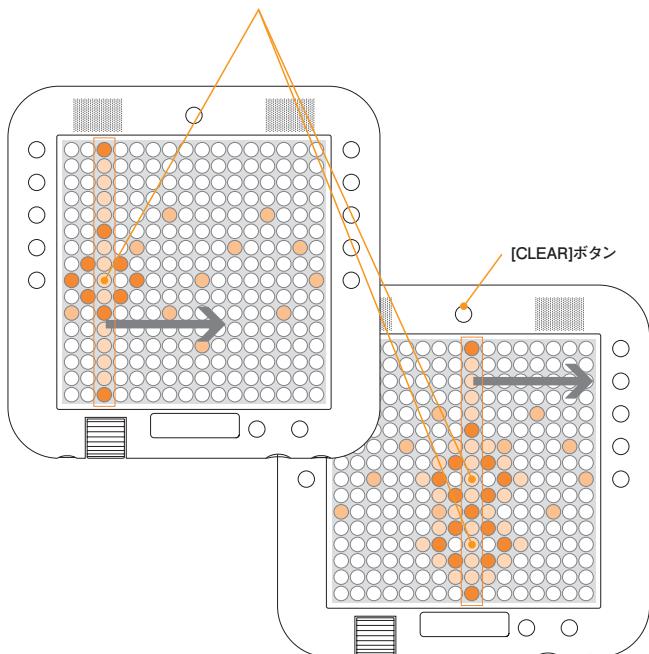
## Scoreモードでの演奏方法

LEDボタンを短い時間だけ押して離すと、そのボタンに割り当てられた音が発音され、同時に押したボタンを中心に光が広がります。さらにLEDボタンを長押しした場合は、そのボタンが点灯したままになり、自動的に発音を繰り返す発音ポイントをセットできます。(もう一度長押しすると発音ポイントは消えます)

LEDボタン上には、左から右へ常にループインジケーターが移動しています。このループインジケーターと発音ポイントが重なったときに、発音ポイントが自動的に光り、音が鳴ります。

- [CLEAR] ボタンを押すと、すべての発音ポイントを消去できます。

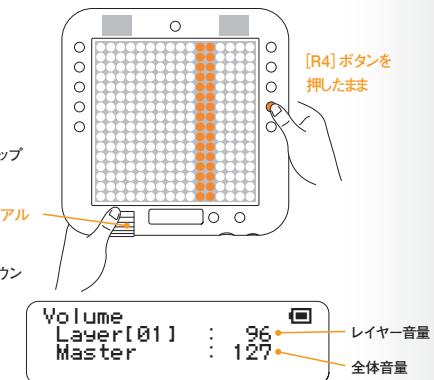
ループインジケーターが通過するとき、  
その発音ポイントの音が鳴り発光します。



## 全体の音量を変えるには

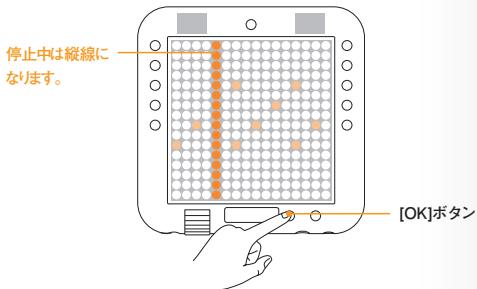
TENORI-ON全体の音量を調整するには、ファンクションボタン [R4] を押しながらジョグダイアルを回します。ボリューム値は液晶ディスプレイに表示されます。

- ここで音量設定は、一時的なものです。本体ボリュームの変更方法については、電子マニュアルの40ページ「Hardware Volume」をご覧ください。



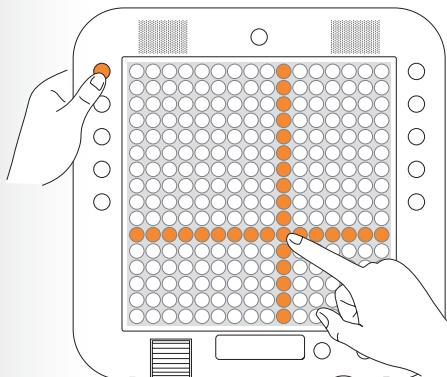
## 自動演奏を一時停止するには

液晶ディスプレイの右下に“STOP”が表示されているときに、[OK]ボタンを押します。自動演奏が一時停止し、ループインジケーターも[OK]ボタンを押した瞬間の位置で停止します（液晶ディスプレイ右下の表示がSTOPからSTARTに変わります）。もう一度[OK]ボタンを押すと自動演奏が再開し、ループインジケーターは現在位置からまた動き始めます。



## ファンクションボタンの機能

TENORI-ONの左右にある10個のファンクションボタンを押しながらLEDボタンを操作することで、音色を切り替えたり、オクターブを変更したりといった、さまざまな効果を演奏に加えることができます。このファンクションボタンとLEDボタンとの組み合わせによる操作はTENORI-ON独特のものですが、瞬時に視覚的・感覚的にさまざまな操作が可能となります。



ファンクションボタンを押したまま、LEDボタンを操作します。

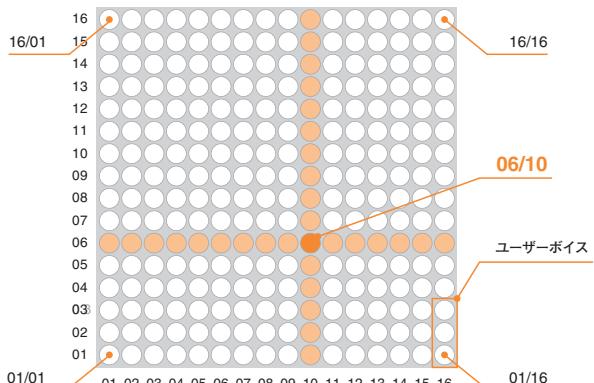
L1 +LEDボタン

## 音色を変える

256種類の中から、使用する音色をワンタッチで選ぶことができます。

[L1] ボタンを押している間、LEDボタン上に十字のラインが表示されます。十字のセンターにあるボタンが現在使用している音色です。十字を表示させたまま他の場所のLEDボタンを押せば、瞬時に音色が切り替わります。

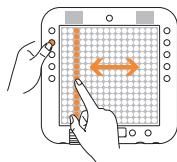
音色番号06/10を選んだ場合



- 液晶ディスプレイには音色番号と音色名が表示されます。音色番号はLEDボタンの縦位置/横位置であらわされます。
- TENORI-ONに内蔵されている音色は253種類です。残りの3つ（音色番号<01/16>、<02/16>、<03/16>）はSDメモリーカード経由でユーザーが自分のサンプリング音などを読み込めるユーザー音色用です。（→23ページ）

### L2 +LEDボタン

#### 発音の長さを変える



発音してから音が消えるまでの時間（ゲートタイム）を変更します。

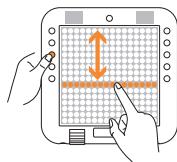
[L2] ボタンを押しながらLEDボタン上に表示される縦ラインを左右に移動させてください。

ラインが右にあるほど、ゲートタイムが長くなります。

● Pushモードでは無効です。

### L3 +LEDボタン

#### オクターブを変える

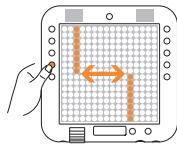


発音する音程をオクターブ単位で上下します。

[L3] ボタンを押しながらLEDボタン上に表示される横ラインを上下させてください。

### L4 +LEDボタン

#### ループポイントを変える



Scoreモードでの、ループインジケーターの移動範囲を変更します。

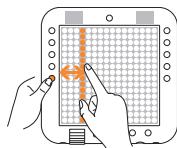
[L4] ボタンを押しながらLEDボタンの上段を押して開始位置（TOP）を、下段を押して終了位置（END）を設定してください。

● Randomモードでは、発音ポイントの回転方向と回転スピードを設定します。（→13ページ）

● Drawモード、Bounceモード、Pushモード、Soloモードでは無効です。

### L5 +LEDボタン

#### ループスピードを変える

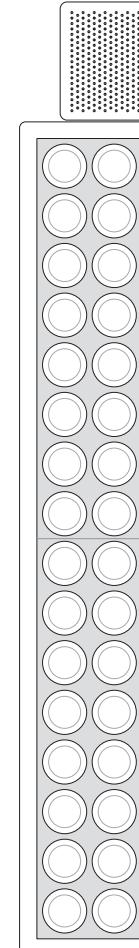


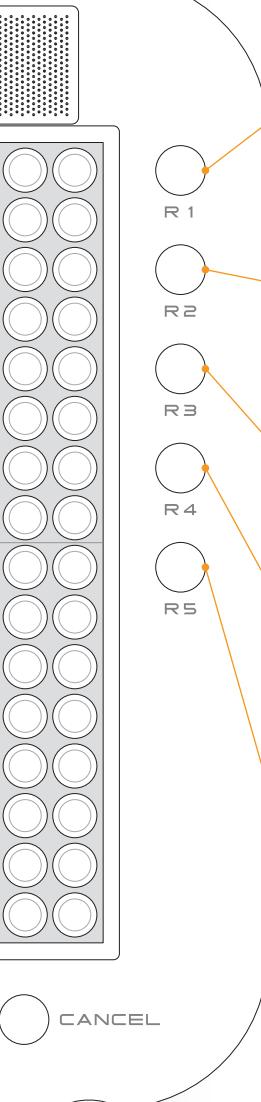
ループインジケーターの移動スピード（1拍の速度）を変更します。

設定は4種類、LEDボタンの左端からそれぞれ4分音符長、8分音符長、16分音符長、32分音符長。

[L5] ボタンを押しながらいずれかのLEDボタンを押してください。

● Pushモードでは無効です。





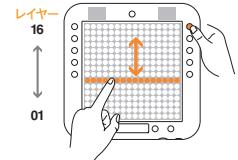
## R1 +LEDボタン

### レイヤーを切り替える

現在選択中のレイヤーから別のレイヤーに切り替えます。

[R1] ボタンを押しながらLEDボタン上に表示される横ラインを上下に移動させ、レイヤーを選択してください。

一番下の段から順番にレイヤー 01、02、03、04……となっています。

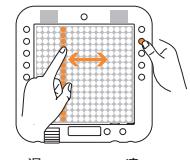


## R2 +LEDボタン

### テンポを変える

自動演奏のテンポ (BPM) を変更します。

[R2] ボタンを押しながらLEDボタン上に表示される縦ラインを左右に移動させてください。縦ラインが右にあるほど、テンポが速くなります。

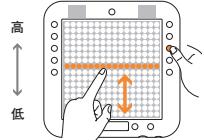


## R3 +LEDボタン

### トランスポーズ (移調) を変える

音程を半音単位で上下します。

[R3] ボタンを押しながらLEDボタン上に表示される横ラインを上下に移動させてください。



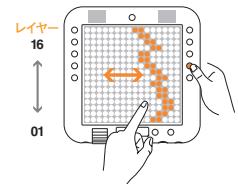
## R4 +LEDボタン

### 各レイヤーの音量を変える

全16レイヤーの音量を一覧表示させて、ミキサーのようにそれぞれのレイヤーの音量を個別に変更できます。

[R4] ボタンを押しながら、各レイヤーに対応したLEDボタン上の光を左右に移動させて音量を変更してください。縦方向がレイヤー番号 (下から上へ01~16)、横方向が音量で右へ行くほど音量が大きくなります。

● ジョグダイアルを回せば、全体の音量(マスター・ボリューム)を調節することができます。  
(液晶ディスプレイに数値が表示されます) (→07ページ)



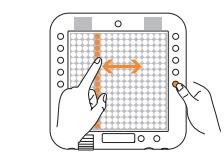
## R5 +LEDボタン

### ブロックを切り替える

現在選択しているブロックから別のブロックに切り替えます。

[R5] ボタンを押しながらLEDボタン上に表示される縦ラインを左右に移動させてください。左端からブロック01、02、03、04…となります。

● ブロックの内容を別のブロックにコピーすることもできます。(→17ページ)



## レイヤーとは?

レイヤーは、“演奏パート”や“録音トラック”に相当するものです。TENORI-ONには全部で16のレイヤーがあり、それぞれに発音ポイントを入力し、異なる音色を設定して同時に自動演奏させることができます。

16のレイヤーは下図のように6種類の演奏モードに振り分けられています。発音ポイントの入力方法や動作が異なるこれら6種類のモードを使い分け、最大16レイヤーを重ねて自動演奏させることで、豊かな音楽表現が可能となります。



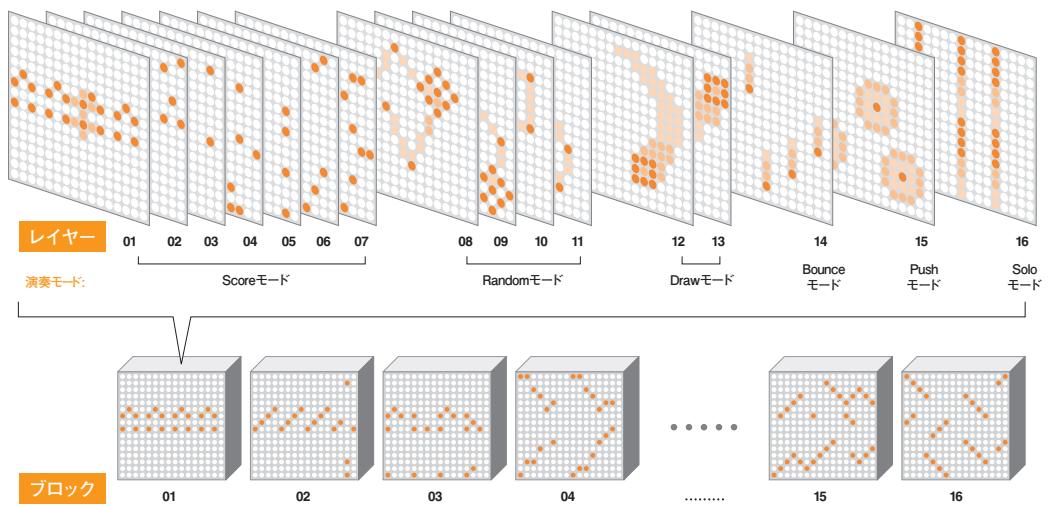
● レイヤー、ブロックを切り替えると、液晶ディスプレイにはそのレイヤー番号、演奏モード名とブロック番号が表示されます。

## ブロックとは?

TENORI-ONではレイヤー 01~16の重なりをワンセットとして扱います。このワンセットをブロックと呼びます。

ブロックとは、16の楽器演奏が重なった音楽の断片のようなもので、TENORI-ONでは、このブロックを最大16個までメモリー上に置いておき、瞬時にブロック間を切り替えながら演奏ができるようになっています。

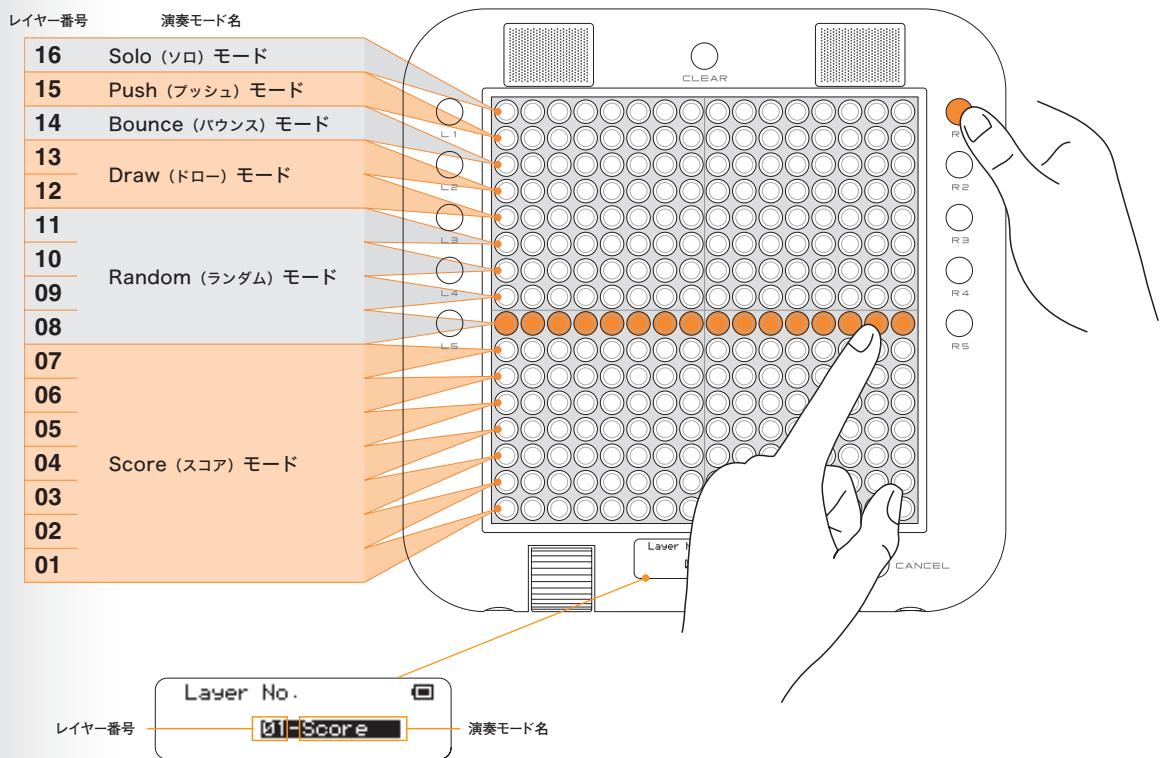
現在の曲をメモリー上に残したまま、他のブロックにコピーをして、元の曲のバリエーションを作ったり、作っておいたいくつのかの曲をSDメモリーカードから複数のブロックにあらかじめ読み込んで、さまざまなタイミングで切り替えながらライブ演奏をしたり、といった使い方が可能です。



● [CLEAR]ボタンを長押しすると、全レイヤー、全ブロックの発音ポイントを消去できます。

## レイヤーと演奏モードの関係

16個のレイヤーには、図のようにそれぞれ6種類の演奏モードのうちの一つが割り当てられています。



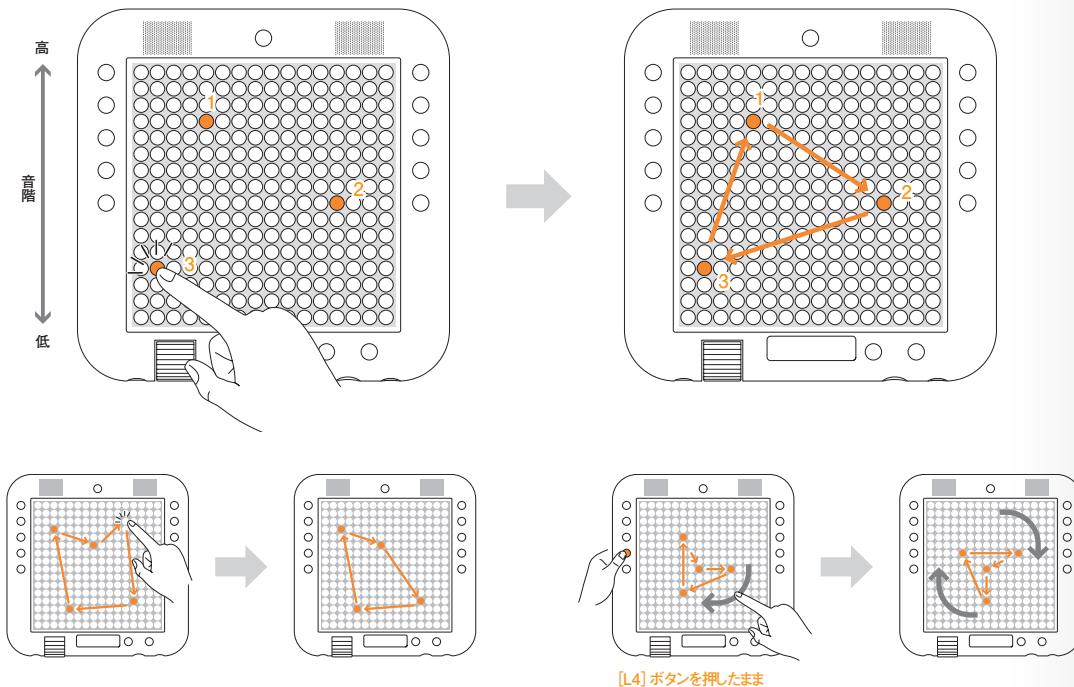
- レイヤーを切り替えると、液晶ディスプレイにはそのレイヤー番号と演奏モード名が表示されます。

たとえばこの図のように、ファンクションボタンの [R1] を押したまま横ラインを表示させた状態で、下から8番目の列のLEDボタン（どちらでもよい）を押すと、1つめのRandomモードが選択できます。

## Random（ランダム）モードでの演奏方法

Randomモードでは、LEDボタンを長押しして発音ポイントをセットすると、そのLEDボタン上で発音/発光が繰り返されます。

さらに別な発音ポイントをいくつかセットすると、セットした順に発音ポイント間を光が移動し、Scoreモードとはまったく違ったタイミングのループサウンドを演奏させることができます。



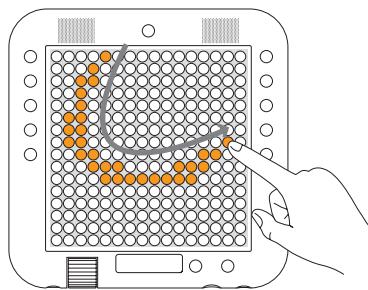
一つずつ発音ポイントを消すには、その位置のLEDボタンをもう一度長押ししてください。

[L4] ボタンを押した状態で、図形を回転させたい方向とスピードでLEDボタンをなぞると、発音ポイント全体を回転させることができます。回転と同時に発音する音程が変わるので、刻々と変化するループサウンドが得られます。回転を止めるには、[L4]ボタンを押しながら、LEDボタンを1秒以上長押しするか、同じLEDボタンを2度押します。

### Draw (ドロー) モードでの演奏方法

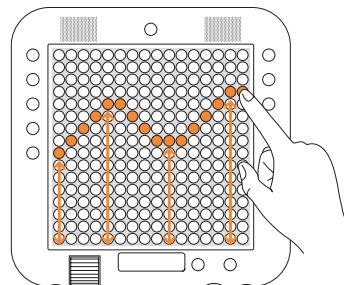
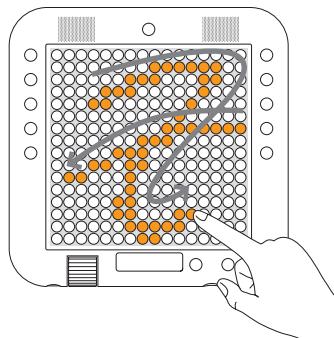
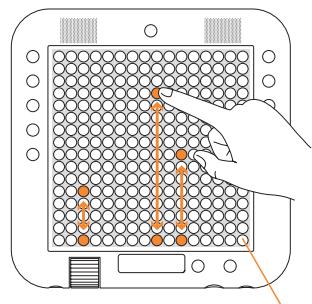
LEDボタンを押したり、ボタンを連続的に指でなぞったりした演奏動作を一定時間記憶し、記憶した通りに光と音を繰り返し再生します。再生中にさらに演奏を加えることで、音をどんどん重ねていくことができます。

Drawモードでは、演奏の一部だけを消すことはできません。  
[CLEAR]ボタンを押した場合は、記憶していた演奏がすべて消去されます。



### Bounce (バウンス) モードでの演奏方法

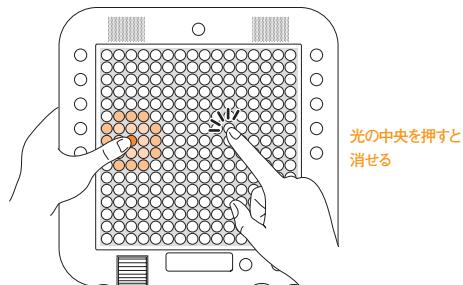
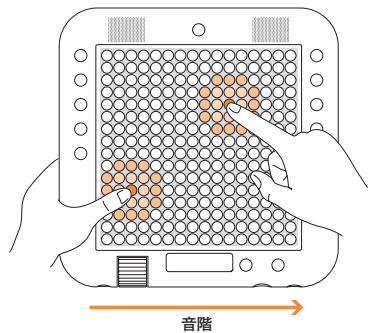
LEDボタンを押したポイントから光が落下し、ボールがバウンドするように光が底辺にぶつかるたびに発音します。入力ポイントの高さが高いほど発音の間隔が長くなります。Bounceモードでは、LEDボタンの横方向が音階で、ピアノのように左から右へ音程が高くなります。



バウンドする光を一つずつ消して発音を止めるには、その列の一番下のLEDボタンを押してください。

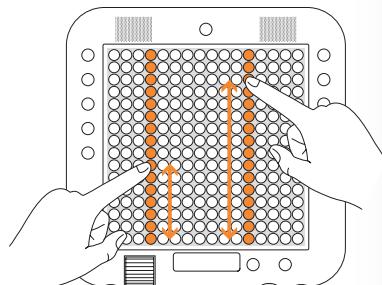
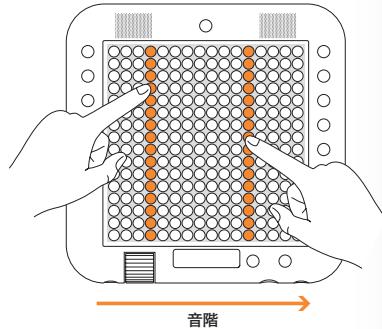
## Push(プッシュ)モードでの演奏方法

LEDボタンを押したままにしていると、徐々に音と光が変化し始めます。光は押されたLEDボタンを中心にはだんだんと明るくなり、光る範囲も拡がります。LEDボタンを押している時間が短い場合、ボタンを離すと音と光は止まります。逆に一定時間を超えて押したままにした場合は、ボタンを離しても発音/発光を続けます。音色によっては、途中で音が減衰して止まったり、音の変化が起きないものがあります。Pushモードを効果的に使うには、持続して発音する音色を選択してください。



## Solo(ソロ)モードでの演奏方法

LEDボタンを押している間、繰り返し発音します。LEDボタンを離すと発音が止まります。Soloモードでは、ピアノの鍵盤のように横方向が音階になっていて、縦方向にLEDボタンを押す位置を変えると発音間隔が変わります。ボタンを押す位置が上へ行くほど発音間隔は短く、下へ行くほど長くなります。最下段を押した場合は繰り返さずに一回だけの発音となります。



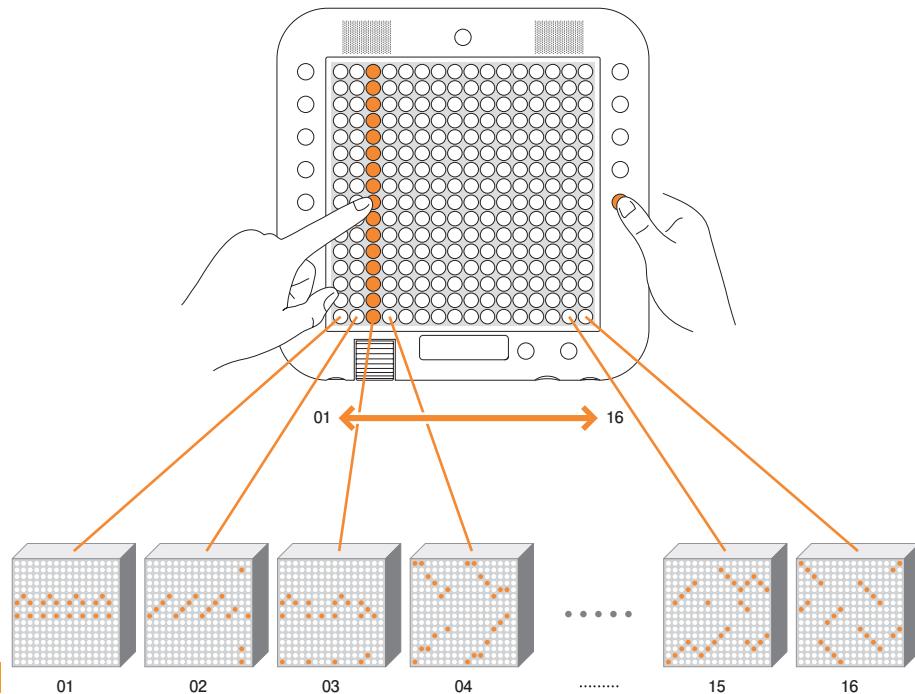
・クオント化をONに設定すると、LEDボタンを押した瞬間の発音タイミングをScoreモードのタイミングに合わせ、簡単にリズムとソロ演奏を合わせることができます。(>付属CD-ROM内の電子マニュアル「TENORI-ONマニュアル」Quantize (56ページ) )

### ブロックを使うと…

現在自動演奏中の曲をメモリー上に残したまま、他のブロックにコピーをして、元の曲のバリエーションを作り、好きなタイミングでブロックを切り替えて演奏することができます。また、まったく違った曲を何曲も作って違うブロックに入れておき、リアルタイムに次々とブロックをチェンジして再生するなど、変化のある演奏が可能になります。

### ブロックを切り替えるには

ファンクションボタン[R5]を押しながらLEDボタン上の縦ラインを左右に移動させることで、目的のブロックへと切り替えます。



## ブロックからブロックへのコピーの方法

ブロック間で1レイヤーのみのコピー、または全レイヤー(1ブロック全部)のコピーができます。

### ◆ LEDボタンでコピーする

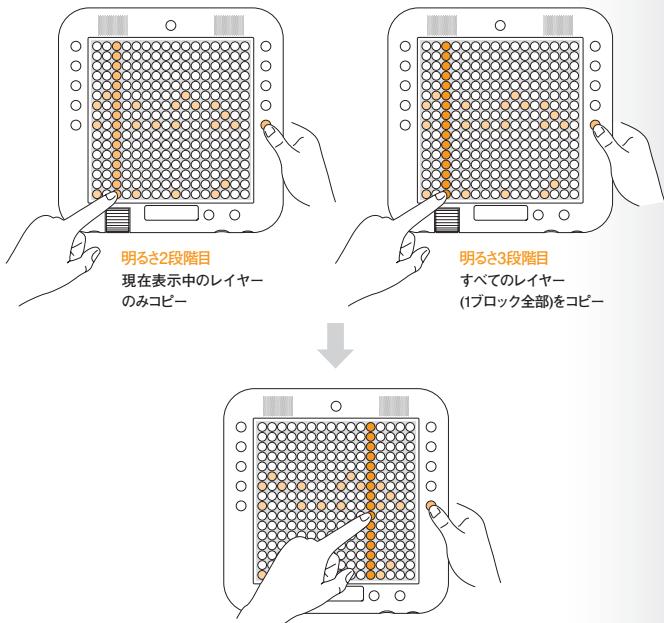
- 1レイヤーのみコピーしたい場合は、あらかじめ、コピー元のレイヤーを選んでおきます。
- ファンクションボタン[R5]を押すと、現在演奏中のブロックが表示されます。

1レイヤーのみコピーする場合:

[R5]ボタンを押したまま、点灯しているLEDボタンの最下段を1回押し(表示が明るくなる)たあと、続けてコピー先ブロックのLEDボタンを押します。そのブロックの同レイヤーにコピーされます。

全レイヤー(1ブロック全部)をコピーする場合:

[R5]ボタンを押したまま、点灯しているLEDボタンの最下段を2回押し(表示が2段階明るくなる)たあと、続けてコピー先ブロックのLEDボタンを押します。そのブロックの全レイヤーにコピーされます。



### ◆ メニューからコピーを選択する

ディスプレイ上でメニューを選択して、1レイヤーのみのコピーまたは全レイヤー(1ブロック全部)をコピーをすることもできます。(<→付属CD-ROM内の電子マニュアル『TENORI-ONマニュアル』Edit menu (51ページ) )

Copy this Block  
Block[03]  
Dest. Block: 12

### メニューとは？

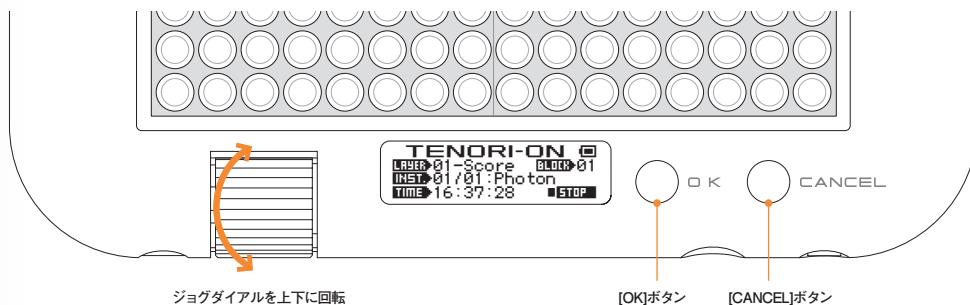
ファンクションボタンとLEDボタンの組み合わせで行なえる機能や設定以外にも、さらに細かなテンポ設定や時計表示、SDメモリーカードを使ったファイルのセーブ/ロードなど、TENORI-ONには多くの機能があります。

これらの機能を使うには、液晶ディスプレイ上に表示されるメニューからジョグダイアルを使って選択/実行を行ないます。

### メニューの基本操作

通常は、液晶ディスプレイにステータス画面が表示されています。

その状態でジョグダイアルを動かすと、表示がメインメニューへと変化します。ジョグダイアルを回して、メインメニューの中の項目から1つを選択し、[OK]ボタンで次の画面へ移動します。この操作を繰り返して目的の機能を実行したり、設定を変更したりすることができます。メニュー画面からステータス画面に戻るには、[CANCEL]ボタンを何度か押します。



ステータス画面

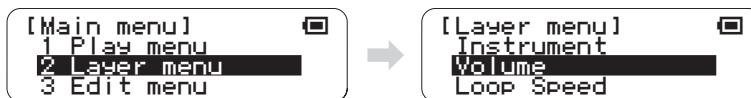


メインメニュー

## メニューの使い方の例

### ◆ 発音時の発光アニメーションを変更する

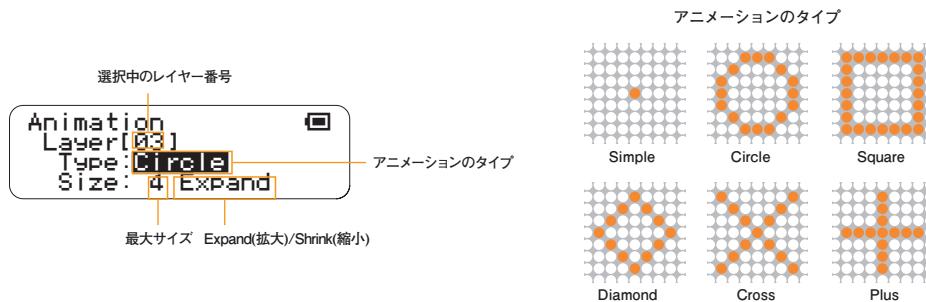
1. ジョグダイアルを回し、メインメニュー“Main menu”画面を表示させます。
2. ジョグダイアルで“2 Layer menu”を選択し、[OK]ボタンを押します。レイヤーメニュー“Layer menu”画面が表示されます。



3. ジョグダイアルで“Animation”を選択し、[OK]ボタンを押します。アニメーションの設定画面が表示されます。



4. Animation画面では、発光アニメーションのタイプ、拡大/縮小の選択とその最大サイズを設定できます。画面には、現在の設定が表示されています。



5. ジョグダイアルを回し、画面上で反転表示されている項目を変更します。選択後[OK]ボタンを押すと反転表示が次の項目へと移動します。同様にジョグダイアルで変更し[OK]ボタンを押します。画面内の最後の項目で[OK]ボタンを押すと、変更が確定されて上の階層のメニューへ戻ります。

## Play menu

全レイヤー、全ブロック共通の  
パラメーター設定

- Hardware Volume ..... ハードウェア全体のボリュームの設定
- Master Tempo ..... マスターテンポの設定
- Master Scale ..... スケール（音階）の設定
- Master Transpose ..... トランスポーズ（移調）の設定
- Master Loop Speed ..... 全レイヤーのループスピード（1拍の速度）の設定
- Master Loop Point ..... 全レイヤーのループ範囲の設定
- Reset Loop Timing ..... 再生位置をループの頭に移動
- Mute ..... 出力音のミュート

## Layer menu

選択中のレイヤーのパラメーター設定

- Instrument ..... 音色の選択
- Volume ..... 音量の設定
- Loop Speed ..... ループスピード（1拍の速度）の設定
- Sound Length ..... 発音時間（ゲートタイム）の設定
- Panpot ..... パンポット（ステレオ定位）の設定
- Animation ..... 発光アニメーションの設定

## Edit menu

コピー、クリア、リセットなどのデータ編集

- Copy this Block ..... ブロック→ブロックでのコピー
- Clear this Block ..... ブロック単位での発音ポイントのクリア
- Copy this Layer ..... レイヤー単位のコピー
- Clear this Layer ..... レイヤー単位での発音ポイントのクリア
- Clear All Blocks ..... 全ブロック（全レイヤー）の発音ポイントのクリア
- Reset All Blocks ..... 全ブロック（全レイヤー）のリセット

## Preference menu

機器共通の初期設定

- Quantize ..... Soloモードの発音タイミングをScoreモードに合わせる
- Push Sensitivity ..... LEDボタンの長押し時間の設定
- Master Tuning ..... 音色（MIDI音源）のマスターチューニングの設定
- Local Control ..... 本体の演奏を内蔵音源で鳴らすかどうかの設定
- Synchronize ..... 複数のTENORI-ONの同期設定
- Loop Indicator ..... ループインジケーターの表示/非表示

## File menu

データファイルの  
セーブ／ロード／リネーム／デリート

- Song** ..... Songファイルの操作
- All Blocks** ..... All Blocksファイルの操作
- Current Block** ..... Current Blockファイルの操作
- Current Layer** ..... Current Layerファイルの操作
- All Settings** ..... All Settingsファイルの操作
- Samplings** ..... Samplingファイルの操作とユーザーボイスの表示

## Effect menu

リバーブ、コーラスのエフェクト設定

- Reverb Type** ..... リバーブエフェクトのタイプ設定
- Reverb Param** ..... リバーブエフェクトの深さの設定
- Chorus Type** ..... コーラスエフェクトのタイプ設定
- Chorus Param** ..... コーラスエフェクトの深さの設定

## Interior menu

演奏以外の動作（ソング再生、時計）の設定

- Interior START** ..... インテリアモードの動作スタート
- Interior Type** ..... インテリアモードのタイプ選択
- Saver Type** ..... セーバー動作時のタイプ選択
- Saver Time** ..... セーバー動作へ入るまでの時間の設定
- Time Signal ON/OFF** ..... 時報のON/OFF
- Alarm ON/OFF** ..... アラームのON/OFF
- Set Alarm** ..... アラームの起動時刻の設定
- SaveAs Time Signal** ..... 選択中のブロックを時報音に設定
- SaveAs Alarm** ..... 選択中のブロックをアラーム音に設定
- Clock Adjust** ..... 時計の年月日、時刻の設定

## System menu

ファクトリーリセット、  
SDメモリーカードのフォーマットなど

- SaveAs Default** ..... 現在の設定を電源ON時の初期設定とする
- SD Format** ..... SDメモリーカードのフォーマット
- Owner Name** ..... TENORI-ONの所有者名の入力
- Version Check** ..... TENORI-ONのROMバージョン表示
- Factory Reset** ..... TENORI-ONのシステム全体のリセット

## Recording menu

ソングのレコーディングと保存

- Recording** ..... ソングの記録と保存

●メニューの詳細は、付属CD-ROM内の電子マニュアル『TENORI-ONマニュアル』をご覧ください。

# ソングのレコーディングと再生

まずSDメモリーカードをご用意ください。

ソングのレコーディングにはSDメモリーカードが必要です。市販のSDメモリーカード(2GB以下)をご用意の上、メニューの“System menu”→“SD Format”でフォーマットしてからお使いください。



## レコーディング、ソングファイルとは？

TENORI-ONの演奏手順をリアルタイムに記録することをレコーディングと呼び、そのレコーディング結果をSDメモリーカードに保存したものをソングファイルと呼びます。

ソングファイルには、レコーディングを開始してからLEDボタン、ファンクションボタン、[CLEAR]ボタンを使った演奏操作が時間経過に沿ってすべて記録されます。このソングファイルをTENORI-ONにロードし再生するといつ、どのボタンを押したのかが、そのまま全部再現され、演奏を何度も聴くことができます。

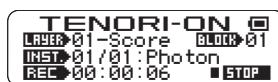
## レコーディングの手順

1. TENORI-ONでフォーマット済みのSDメモリーカードを、カードスロットにカチッと音がするまで差し込みます。
2. ジョグダイアルで“Main menu”→“Recording menu”を表示させ、[OK]ボタンを押します。



3. [OK]ボタンを押すとレコーディングが開始されます。

レコーディング中は液晶ディスプレイに設定状態や録音経過時間などが表示されます。



経過時間

- \*レコーディング中は、メニューは使用できません。
- \*レコーディング可能時間は、演奏内容により異なります。

4. 演奏が終したら、[OK]ボタンを押してレコーディングを終了します。

レコーディングしたソングをSDメモリーカードにファイル保存する画面が表示されます。



## ソングの保存

5. [OK]ボタンを押して、保存するソングファイル名の入力画面を表示させます。

\*保存しない場合は[CANCEL]ボタンを押します。

\*ファイル名は自動で付けられます。そのまま使っても、変更してもかまいません。ファイル名は16文字以内です。



6. ファイル名を付け終わったら、画面右下の“＊”を選び [OK]ボタンを押します。

7. “Saving...”(ソングファイル保存中)の表示後、“Recording menu”画面が表示されたら保存完了です。

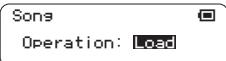
ファイルが破損する恐れがあるので、“Saving...”表示中は絶対に電源を切ったり、SDメモリーカードを抜かないでください。ファイル保存をキャンセルする場合は[OK]または[CANCEL]ボタンを押してください。

## ソングの再生

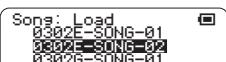
ソングファイルをTENORI-ON本体にロードし、再生します。

1. ソングファイルが入ったSDメモリーカードを、カードスロットにカチッと音がするまで差し込みます。

2. ジョグダイアル&[OK]ボタンで、“Main menu”→“File menu”→“Song”を表示させ、[OK]ボタンを押します。



3. ジョグダイアルを回し、“Operation”に“Load”を表示させ[OK]ボタンを押します。



4. SDメモリーカード内のソングファイルがリスト表示されます。再生したいソングファイル名をジョグダイアルで反転表示させ[OK]ボタンを押すと、ロードが実行されます。

5. ロードが終了すると、ロードしたSongファイルが再生されます。

・ソングファイルを電子メールに添付して、TENORI-ONユーザー同士で作品を交換しあうことができます。

## オリジナルのサンプリング音を使用するには?

パソコンで録音したり、インターネットからダウンロードしたサウンドファイルをTENORI-ONの3つのユーザー voicesエリア(音色番号<01/16>、<02/16>、<03/16>)にロードして鳴らすことができます。〈→付属CD-ROM内の電子マニュアル『TENORI-ONマニュアル』File menu (58ページ)〉

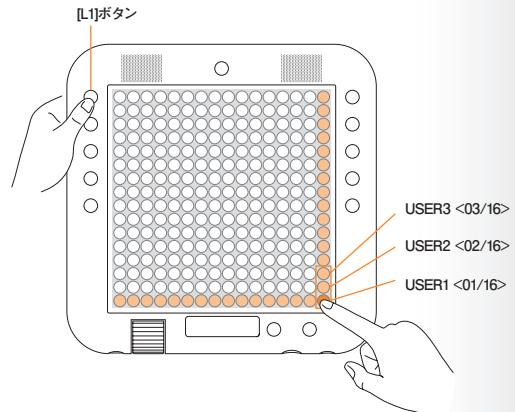
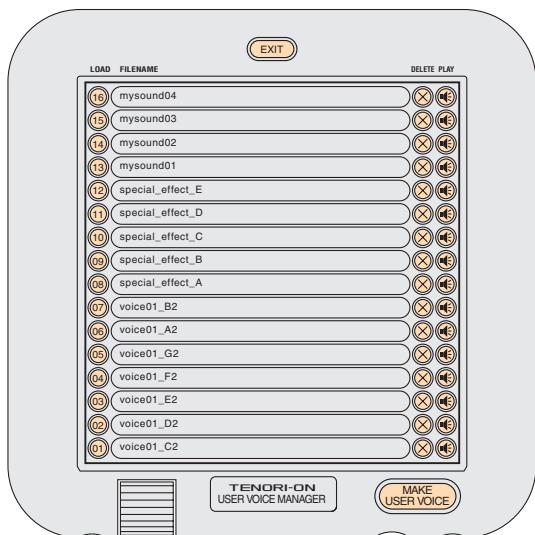
WAVEフォーマットまたはAIFFフォーマットのオーディオファイル(サンプリングファイル)を、TENORI-ONの3つのユーザー voices(音色番号<01/16>、<02/16>、<03/16>)にロードして鳴らすことができます。1ユーザー voicesにつき16個のLEDボタンそれぞれに別のファイルを割り当てて使うことができます。(最大48個のサンプリングサウンドを使用可能)

## TENORI-ON User Voice Managerを使う

付属CD-ROM内のソフトウェア“TENORI-ON User Voice Manager”を使って、オーディオファイルを16個の[LOAD]ボタン⑬～⑯へアサインし、専用のユーザー voicesファイルとして保存します。アサイン可能なユーザー voices1音の長さは約0.97秒です。こうして作成したファイルをSDメモリーカード経由でTENORI-ONにロードします。

- ユーザーボイスは内蔵のMIDI音源と違って、オクターブやトランスポーズ、スケールの設定は無効となります。
- TENORI-ONの電源を切っても、ユーザー voicesはメモリーに残ります。
- ユーザーボイスを使用したソングを他のTENORI-ONで演奏する場合は、使用したユーザー voicesファイルをあらかじめロードしておいてください。

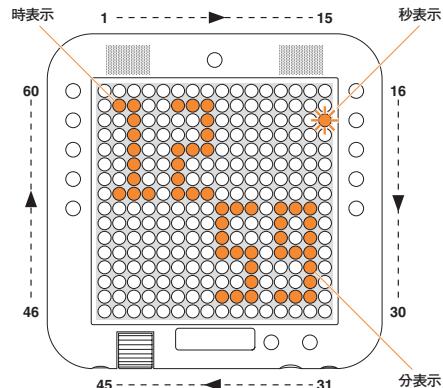
TENORI-ON User Voice Manager



## インテリアモードとは？

TENORI-ONを、部屋のインテリアとして使うことができるのがインテリアモードです。

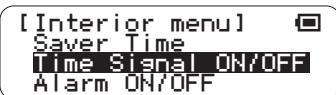
たとえばTENORI-ONに時計を表示させ、自分で作った曲を時報やアラームとして鳴らすことができます。また、TENORI-ONを一定時間操作しなかった場合に、BGMプレーヤーとしてSDメモリーカード上に保存されているソングファイルをランダムに再生させる、といったことも可能です。



## インテリアメニュー “Interior menu” の設定

インテリアメニュー “Interior menu” では、演奏時以外のTENORI-ONの動作を設定できます。

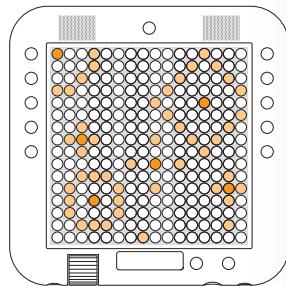
- **Interior START** ..... 設定されているインテリアモードをすぐに動作させます。
- **Interior Type** ..... インテリアモードでの動作タイプを設定します。
- **Saver Type** ..... セーバー動作の切り替え(パワーセーブモード/インテリアモード)  
セーバー動作から抜けたい場合は、LEDボタンなどを押します。
- **Saver Time** ..... セーバー動作に入るまでの時間の設定
- **Time Signal ON/OFF** .. 時報を鳴らす(ON)か鳴らない(OFF)かを設定
- **Alarm ON/OFF** ..... アラームを鳴らす(ON)か鳴らない(OFF)かを設定
- **Set Alarm** ..... アラームの起動時刻の設定
- **SaveAs Time Signal** .. 現在選択中のブロックを時報音として保存します。
- **Save As Alarm** ..... 現在選択中のブロックをアラーム音として保存します。
- **Clock Adjust** ..... 時計の年月日、時刻の設定



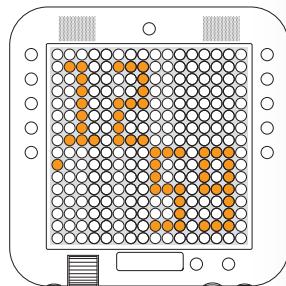
ジョグダイアルと[OK]ボタンで設定

#### インテリアモードでの動作タイプ(Interior Type)

- Song (DEMO) ..... TENORI-ONの内蔵デモソングを再生します。
- Song (SD) ..... SDメモリーカード内にあるソングファイルをランダムに再生します。

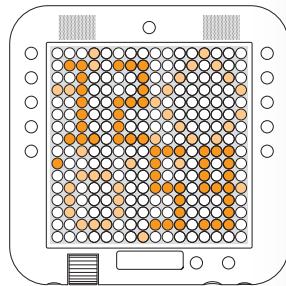


- Clock ..... LEDボタン上に時刻を表示します。

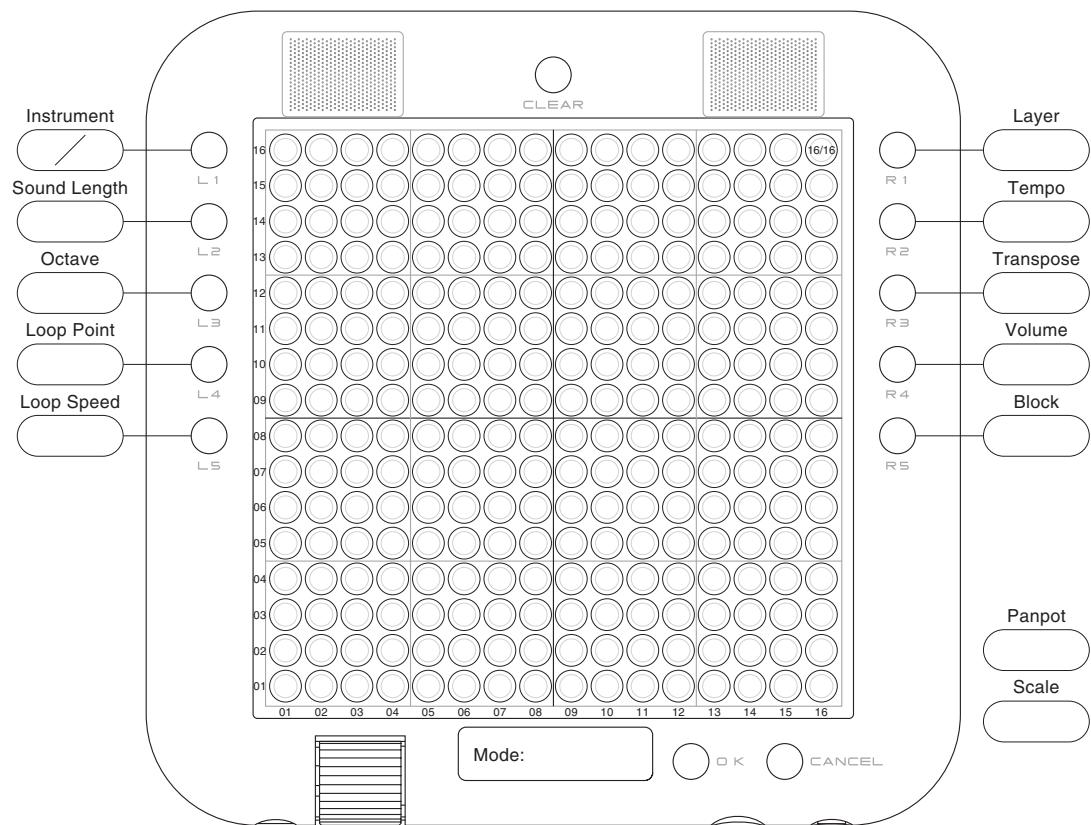


- Clock+Song (DEMO) ..... LEDボタン上に時刻を表示し、同時に内蔵デモソングを再生します。時刻表示のバックでソング再生時の発光アニメーションも動作します。

- Clock+Song (SD) ..... LEDボタン上に時刻を表示し、同時にSDメモリーカード内にあるソングファイルをランダムに再生します。時刻表示のバックでソング再生時の発光アニメーションも動作します。



# TENORI-ON



Score No.	Date:	User Voice File 3:
Song File Name:	Time:	User Voice File 2:
Owner's Name:		User Voice File 1:

SCORE SHEET

### ● シーケンサー部

音符分解能	♩ = 96クロック
音長(ゲートタイム)	10 ms ~ 9990 ms
オクターブ	-5 ~ +5
テンボ(BPM)	40 ~ 240
スケール	9種
トランスポーズ	-7 ~ +8
演奏モード	6種類 (Scoreモード、Randomモード、Drawモード、Bounceモード、Pushモード、Soloモード)
その他機能	時計、パワーセーブ、2台間での同期演奏、録音、TENORI-ON SONG再生
設定可能な発音ポイント最大数	Pushモード: 64ポイント Randomモード: 64ポイント Drawモード: 64ポイント

### ● 音源部

音源方式	AWM2音源
最大同時発音数	32音
プリセット音色数	253 (ノーマル音色: 239、ドラム音色: 14キット)
エフェクト	2系統 リバーブ: 10タイプ コーラス: 5タイプ
サンプリング	3音色(0.97秒以内のRAWオーディオを1音色につき16音まで設定可能) ※ 付属のPCアプリケーション (TENORI-ON User Voice Manager)を使用

### ● カード部

セーブ	Song/Block/Layer/Setting/Sampling
ロード	Song/Block/Layer/Setting/Sampling
リネーム	Song/Block/Layer/Setting/Sampling
デリート	Song/Block/Layer/Setting/Sampling
フォーマット	

### ● コントローラー & ディスプレイ

LEDボタン	256個
裏面LEDディスプレイ(TNR-Wのみ)	256個(発光のみで、ボタン機能はありません)
ファンクションボタン	10個 (L1~L5、R1~R5)
CLEARボタン、OKボタン、CANCELボタン	各1個
ジョグダイアル	
ディスプレイ	122×32ドットグラフィック 液晶ディスプレイ(イエローグリーンバックライト)、 20文字×4行、単色

### ● 発音

ステレオスピーカー	出力容量1W
-----------	--------

### ● 接続端子

LINE OUT/PHONES端子	ステレオジャック×1
mini DIN端子	MIDI IN: TENORI-ON 2台での同期演奏用 MIDI OUT: 外部機器のコントロール用
カードスロット	SDメモリーカードに対応
DC IN端子	PA-3C、PA-130またはヤマハ推奨の同等品

### ● 電源

アルカリ単3乾電池×6本(TNR-Wのみ: 内蔵デモソング再生の場合、約5時間の連続再生が可能)または電源アダプター (PA-3C、PA-130またはヤマハ推奨の同等品)

消費電力 9W

### ● 寸法(幅×奥行×高さ)

205×205×32 mm

### ● 質量

TNR-W: 約700g (乾電池含まず)

TNR-O: 約610g

### ● 付属品

mini DINケーブル、CD-ROM × 1枚、電源アダプター (PA-3C、PA-130またはヤマハ推奨の同等品)、クイックガイド、インストールガイド、安全上のご注意、保証書

● 仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。



## ヤマハ株式会社

PA・DMI事業部

DMIマーケティング部 CL・PKグループ

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

TENORI-ON お取り扱い・操作ガイド専用窓口

(音楽制作機器相談窓口内)

受付日: 月曜日~土曜日(祝日およびセンター指定休業日を除く)

受付時間: 10:00 ~ 18:00 (土曜日は10:00 ~ 17:00)

TEL: 053-460-4777

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

TENORI-ONのホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/tenori-on/>

ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

お客様サポート&サービス

<http://www.yamaha.co.jp/support/>

●名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。